

# 県民意見整理台帳

○ 意見募集期間 令和4年9月16日(金曜日)～令和4年10月16日(日曜日)

○ 意見募集の結果 意見提出件数 213件  
意見提出者数 76人・2団体

○ 意見内容の概要

区分	延べ件数
1:生活・環境	28
2:産業	26
3:人材育成・共創の場	66
4:全般・その他	102
計	222

※1～3の分類にまたがる意見が9件あったため、延べ件数は222件となっています。

○ 県の考え方の概要

区分	延べ件数
A:大綱に反映する意見	15
B:意見の趣旨が既に大綱に反映されている意見	184
C:今後の参考とする意見	13
D:大綱に反映できない意見	1
E:その他	0
計	213

政策局いのち・未来戦略本部室



意見の内訳(意見分類): 1 生活・環境 / 2 産業 / 3 人材育成・共創の場 / 4 全般・その他

意見の反映状況(反映区分): A 大綱に反映する意見 / B 意見の趣旨が既に大綱に反映している意見 / C 今後の参考とする意見 / D 大綱に反映できない意見 / E その他

意見番号	意見分類	意見要旨	反映区分	県の考え方
1	4	神奈川県は、他県と比べて進んでいる。	B	神奈川発の科学技術によるイノベーションを起こし活用していく取組によって、科学技術の成果を地域に展開し、県民の皆様に届けていくことを目指し、科学技術政策の推進に取り組んでまいります。
2	4	地域科学技術振興という考え方にに基づき、科学技術政策を展開する素地が神奈川県にはあると考える。	B	神奈川発の科学技術によるイノベーションを起こし活用していく取組によって、科学技術の成果を地域に展開し、県民の皆様に届けていくことを目指し、科学技術政策の推進に取り組んでまいります。
3	4	第7期科学技術政策大綱の素案を拝見させていただきました。時代のニーズを反映しており、とてもよくまとまっていると感じた。	B	神奈川発の科学技術によるイノベーションを起こし活用していく取組によって、科学技術の成果を地域に展開し、県民の皆様に届けていくことを目指し、科学技術政策の推進に取り組んでまいります。
4	4	科学技術を活用した未来社会創りが求められているが、推進していくことは並大抵のことではなく、地道な取組が必要だと考える。科学技術を推進してきた神奈川県が、突破口を開くことを強く期待する。	B	神奈川発の科学技術によるイノベーションを起こし活用していく取組によって、科学技術の成果を地域に展開し、県民の皆様に届けていくことを目指し、科学技術政策の推進に取り組んでまいります。
5	3	科学技術を個々人の生活の質を向上させるためにあるとした記述は県政のスタンスを科学技術政策の基本思想に及ぼすもので、評価する。	B	神奈川発の科学技術によるイノベーションを起こし活用していく取組によって、科学技術の成果を地域に展開し、県民の皆様に届けていくことを目指し、科学技術政策の推進に取り組んでまいります。
6	4	神奈川県が科学技術に対する政策を30年間にわたり展開してきたことに心から敬意を表します。	B	神奈川発の科学技術によるイノベーションを起こし活用していく取組によって、科学技術の成果を地域に展開し、県民の皆様に届けていくことを目指し、科学技術政策の推進に取り組んでまいります。
7	4	全国に先駆けて神奈川県が科学技術大綱を策定し、現在7期まで継続していることに敬意を表する。	B	神奈川発の科学技術によるイノベーションを起こし活用していく取組によって、科学技術の成果を地域に展開し、県民の皆様に届けていくことを目指し、科学技術政策の推進に取り組んでまいります。
8	4	今後神奈川県での研究開発がしやすくなる環境づくりや、直接県民のためになるような成果のわかりやすく県民が実感しやすい技術の活用を期待したい。	B	神奈川発の科学技術によるイノベーションを起こし活用していく取組によって、科学技術の成果を地域に展開し、県民の皆様に届けていくことを目指し、科学技術政策の推進に取り組んでまいります。
9	4	非常に多角的かつ多層的に県の科学技術政策が丁寧にまとめられており、素晴らしい素案になっていると思います。	B	神奈川発の科学技術によるイノベーションを起こし活用していく取組によって、科学技術の成果を地域に展開し、県民の皆様に届けていくことを目指し、科学技術政策の推進に取り組んでまいります。

意見の内訳(意見分類): 1 生活・環境 / 2 産業 / 3 人材育成・共創の場 / 4 全般・その他

意見の反映状況(反映区分): A 大綱に反映する意見 / B 意見の趣旨が既に大綱に反映している意見 / C 今後の参考とする意見 / D 大綱に反映できない意見 / E その他

意見番号	意見分類	意見要旨	反映区分	県の考え方
10	1	現代の農業は、担い手の減少や消費者の利便性を背景に、農業を大量に使用している。環境負荷の少ない、自然素材由来の農業についての研究開発を進めてほしい。	B	ご意見については、基本目標1「安全・安心で豊かな生活・環境を県民が実感できる地域社会の実現」に係る内容として記載しており、自然・生活環境の保全など県民生活に繋がる活動や環境に調和する農業を推進するための技術開発として推進してまいります。また、施策に関わるご意見については、今後の施策運営の参考とさせていただきます。
11	1	現代の農業は、担い手の減少や消費者の利便性を背景に、農業を大量に使用している。環境負荷の少ない、自然素材由来の肥料についての研究開発を進めてほしい。	B	
12	1	昨今の災害状況を踏まえ、県の研究機関に土木研究センターを設置すべき。	C	ご意見については、参考意見として承りました。防災・減災については、大綱の重点研究目標に位置づけ、将来のイノベーション創出のための研究シーズの発掘に努めるとともに、大学や企業、研究機関等との連携を図りながら、新たな高付加価値産業の創出や異分野間の連携も視野に入れ、研究活動を展開してまいります。
13	1	昨今の災害状況を踏まえ、県の研究機関において自然災害等に関する研究を行うべき。	B	ご意見については、基本目標1「安全・安心で豊かな生活・環境を県民が実感できる地域社会の実現」に係る内容として記載しており、自然災害等に対応する研究・モニタリング活動を推進してまいります。また、施策に関わるご意見については、今後の施策運営の参考とさせていただきます。
14	2	農林水産業の振興のため、人の流れ(人流)を円滑化し交流を深化させていく研究が必要。	B	ご意見については、基本目標2「持続可能な産業の創出・育成による地域経済の活性化」に係る内容として記載しており、中小企業支援(第一次産業)などによる研究成果の産業への活用に取り組んでまいります。また、施策に関わるご意見については、今後の施策運営の参考とさせていただきます。
15	2	農林水産業の振興のため、物流を円滑化し交流を深化させていく研究が必要。	B	ご意見については、基本目標2「持続可能な産業の創出・育成による地域経済の活性化」に係る内容として記載しており、中小企業支援(第一次産業)などによる研究成果の産業への活用に取り組んでまいります。また、施策に関わるご意見については、今後の施策運営の参考とさせていただきます。
16	2	農林水産業の振興のため、交通を円滑化し交流を深化させていく研究が必要。	B	ご意見については、基本目標2「持続可能な産業の創出・育成による地域経済の活性化」に係る内容として記載しており、中小企業支援(第一次産業)などによる研究成果の産業への活用に取り組んでまいります。また、施策に関わるご意見については、今後の施策運営の参考とさせていただきます。
17	4	神奈川県が科学技術の開発、展開に当たって実際に使う現場と開発の両方の視点から技術を将来性を検討していることが分かった。	B	科学技術の成果が社会で活用されるよう、産業や生活、現場の視点や時間軸を大切に、顕在的・潜在的ニーズを意識した研究及び「科学技術」と「社会」の対話の活動を推進してまいります。
18	4	科学技術政策の推進には、技術を研究する側が実際に技術を使う現場のことを考えることも大事だ。	B	科学技術の成果が社会で活用されるよう、産業や生活、現場の視点や時間軸を大切に、顕在的・潜在的ニーズを意識した研究及び「科学技術」と「社会」の対話の活動を推進してまいります。

意見の内訳(意見分類): 1 生活・環境 / 2 産業 / 3 人材育成・共創の場 / 4 全般・その他

意見の反映状況(反映区分): A 大綱に反映する意見 / B 意見の趣旨が既に大綱に反映している意見 / C 今後の参考とする意見 / D 大綱に反映できない意見 / E その他

意見番号	意見分類	意見要旨	反映区分	県の考え方
19	4	科学技術政策は、現場と乖離してはいけぬ。社会と共に歩む科学技術政策であることが大切であると考えらる。	B	科学技術の成果が社会で活用されるよう、産業や生活、現場の視点や時間軸を大切に、顕在的・潜在的ニーズを意識した研究及び「科学技術」と「社会」の対話の活動を推進してまいります。
20	4	科学技術は国家100年の基盤だと考えており、中長期的視点を持って取り組むべきである。短期的な成果のみを求めているはこの国の科学技術資源は枯渇してしまうと危機感を強く感じている。	B	科学技術の成果が社会で活用されるよう、産業や生活、現場の視点や時間軸を大切に、顕在的・潜在的ニーズを意識した研究及び「科学技術」と「社会」の対話の活動を推進してまいります。
21	3	科学技術を使う側の科学技術リテラシーを高めることも大事だ。	B	社会との対話を重ねることで、社会課題解決のための科学技術活動を強化し、地域社会の科学技術リテラシーの向上も図ります。こうした取組を通じて、科学技術への共感と信頼を醸成することで、県民の皆様一人一人がその成果をより実感できる社会の実現を目指してまいります。
22	1	科学技術は、間違いなく県民生活を豊かにする要素の一つである。今後も、県民の困りごとをしっかりと把握することから始めてもらいたい。	B	社会との対話を重ねることで、社会課題解決のための科学技術活動を強化し、地域社会の科学技術リテラシーの向上も図ります。こうした取組を通じて、科学技術への共感と信頼を醸成することで、県民の皆様一人一人がその成果をより実感できる社会の実現を目指してまいります。
23	3	研究者等は科学技術を分かりやすくアウトリーチしていく活動が大切であるし、社会も科学技術の不確実性を許容する素養が必要である。	B	社会との対話を重ねることで、社会課題解決のための科学技術活動を強化し、地域社会の科学技術リテラシーの向上も図ります。こうした取組を通じて、科学技術への共感と信頼を醸成することで、県民の皆様一人一人がその成果をより実感できる社会の実現を目指してまいります。
24	4	科学技術と社会の対話は、大切な視点である。科学技術が社会課題に対応していくことが重要であるし、社会が科学技術への理解を進め活用していくことも重要である。	B	社会との対話を重ねることで、社会課題解決のための科学技術活動を強化し、地域社会の科学技術リテラシーの向上も図ります。こうした取組を通じて、科学技術への共感と信頼を醸成することで、県民の皆様一人一人がその成果をより実感できる社会の実現を目指してまいります。
25	4	ITやゲノムでは、倫理や個人情報の扱いが社会的課題とされているため、科学技術の社会実装には、技術を受け入れる社会の成長も必要だと思います。	B	社会との対話を重ねることで、社会課題解決のための科学技術活動を強化し、地域社会の科学技術リテラシーの向上も図ります。こうした取組を通じて、科学技術への共感と信頼を醸成することで、県民の皆様一人一人がその成果をより実感できる社会の実現を目指してまいります。
26	4	社会が最先端技術を主体的に取捨選択するために、社会を構成する人々がリテラシーを高めることを推進する取組も大切だと思います。	B	社会との対話を重ねることで、社会課題解決のための科学技術活動を強化し、地域社会の科学技術リテラシーの向上も図ります。こうした取組を通じて、科学技術への共感と信頼を醸成することで、県民の皆様一人一人がその成果をより実感できる社会の実現を目指してまいります。
27	3	科学技術を入々の生活に適用していくには、その技術分野における規格や制度の条件を考慮するだけでなく地域住民の理解も重要であるため、政策実現にはかなりの時間が掛かると考えられますが、諦めず実現に向けて取り組む姿勢を期待しています。	B	社会との対話を重ねることで、社会課題解決のための科学技術活動を強化し、地域社会の科学技術リテラシーの向上も図ります。こうした取組を通じて、科学技術への共感と信頼を醸成することで、県民の皆様一人一人がその成果をより実感できる社会の実現を目指してまいります。

意見の内訳(意見分類): 1 生活・環境 / 2 産業 / 3 人材育成・共創の場 / 4 全般・その他

意見の反映状況(反映区分): A 大綱に反映する意見 / B 意見の趣旨が既に大綱に反映している意見 / C 今後の参考とする意見 / D 大綱に反映できない意見 / E その他

意見番号	意見分類	意見要旨	反映区分	県の考え方
28	4	やはり重要なのは県民にとって明確なメリットのある政策である必要があると考える。利益を生むことは重要な要素ではあるものの、それだけに集中してしまうのは本質を見失ってしまっている政策になってしまうであろう。	B	社会との対話を重ねることで、社会課題解決のための科学技術活動を強化し、地域社会の科学技術リテラシーの向上も図ります。こうした取組を通じて、科学技術への共感と信頼を醸成することで、県民の皆様一人一人がその成果をより実感できる社会の実現を目指してまいります。
29	3	県の研究機関での研究の成果は、神奈川県民の県民生活や産業のために活用するだけでなく、地域や分野を問わずより多くの方がその研究成果を共有して活用できるようにできたらよいと思います。	B	社会との対話を重ねることで、社会課題解決のための科学技術活動を強化し、地域社会の科学技術リテラシーの向上も図ります。こうした取組を通じて、科学技術への共感と信頼を醸成することで、県民の皆様一人一人がその成果をより実感できる社会の実現を目指してまいります。
30	4	科学技術と社会の対話という視点はよいと考えと思います。科学技術の独りよがりではなく、社会のニーズに科学技術で応える、という構図が図られるべきです。	B	社会との対話を重ねることで、社会課題解決のための科学技術活動を強化し、地域社会の科学技術リテラシーの向上も図ります。こうした取組を通じて、科学技術への共感と信頼を醸成することで、県民の皆様一人一人がその成果をより実感できる社会の実現を目指してまいります。
31	3	限りある資源を全県に薄く広く投入するよりも、サイエンスパークといった科学技術開発拠点に充填するという県の考え方は妥当と考える。	B	より効果的に科学技術の成果を生み出し活用していくために、選択と集中の観点を踏まえ取り組んでまいります。
32	4	今回の改定で、重点研究目標に「脱炭素」を追加されたことは、時代背景に合致している。	B	科学的アプローチに基づく課題解決により、「脱炭素社会」の実現など、安全・安心で豊かな生活・環境を県民の皆様が実感できる地域社会の実現を目指してまいります。
33	1	近年は、相模湾において藻場が消失していることから、藻場の再生を推進していただきたい。	B	ご意見については、施策の基本的な方向として自然・生活環境の保全など生活に繋がる活動の推進を位置付けており、豊かな生態系を育むための藻場の再生に関する研究に取り組んでまいります。
34	4	ブルーカーボンに係る取り組みを推進していただきたい。	B	ご意見については、施策の基本的な方向として自然・生活環境の保全など生活に繋がる活動の推進を位置付けており、「脱炭素社会」の実現に向けた調査・研究活動を行ってまいります。
35	1	海の豊かさを守ることは、持続可能な開発目標(SDGs)の17の目標の1つにあげられており、非常に重要な取り組みだと考える。	B	社会の持続可能性の向上に向け、自然環境の保全・再生に向けた活動として、豊かな生態系を育むための漁場環境や水産資源の管理、栽培漁業に関する研究に取り組んでまいります。
36	2	現代社会は、携帯電話を1人が複数台持つ等、情報デバイスが身の回りにあふれすぎており、あまりの情報量に情報疲れをしている人々がいると考える。	C	ご意見については、今後の施策運営の参考とさせていただきます。

意見の内訳(意見分類): 1 生活・環境 / 2 産業 / 3 人材育成・共創の場 / 4 全般・その他

意見の反映状況(反映区分): A 大綱に反映する意見 / B 意見の趣旨が既に大綱に反映している意見 / C 今後の参考とする意見 / D 大綱に反映できない意見 / E その他

意見番号	意見分類	意見要旨	反映区分	県の考え方
37	4	神奈川県から生まれた最先端の技術・サービスが本来人間が持ち合わせた家族や友人と過ごす時間を妨げないような在り方を検討してください。	B	ご意見については、科学技術によるイノベーションを創出し、地域で活用していく上では、社会課題を俯瞰的に捉え科学的知見に基づいて社会と対話し、合意形成を目指していくことを記載しております。
38	4	神奈川県のみならず、海外や県外の優れた科学技術やサービスが県民にどのようにすれば苦や負担にならず受け入れられるか検討してほしい。	B	ご意見については、科学技術によるイノベーションを創出し、地域で活用していく上では、社会課題を俯瞰的に捉え科学的知見に基づいて社会と対話し、合意形成を目指していくことを記載しております。
39	3	神奈川県或いは県外から生まれた技術・サービスがゆとりある時間、自然と触れ合う時間を妨げないような在り方を検討してください。	B	ご意見については、施策の基本的な方向として科学技術に係る活動等の情報発信と科学技術と社会の対話として位置付けており、県民の皆様が科学技術に裏付けられた情報をもとに、より豊かな生活を送ることができるよう、積極的に情報発信してまいります。
40	3	研究成果を共有して活用できるようにするために、県の研究機関での成果を学会発表や論文などで対外的に公表することを推進する取り組みがあればよいと思います。	B	ご意見については、施策の基本的な方向として科学技術に係る活動等の情報発信と科学技術と社会の対話として位置付けており、県民の皆様が科学技術に裏付けられた情報をもとに、より豊かな生活を送ることができるよう、積極的に情報発信してまいります。
41	3	最先端、最新の科学技術が、人々の行動や思考を邪魔しない、無理をさせない、当たり前の人に生活空間に入り込むような在り方のコーディネート機能を果たすことを期待する。	B	ご意見については、施策の基本的な方向として科学技術に係る活動等の情報発信と科学技術と社会の対話として位置付けており、県民の皆様が科学技術に裏付けられた情報をもとに、より豊かな生活を送ることができるよう、積極的に情報発信してまいります。
42	4	テレビやラジオなどで発信する必要はないが、ウェブページやを充実させたり、公民館等のリーフレットを作ったり等、今進められている科学技術政策の内容を分かりやすく県民に伝える姿勢が必要だと思います。	B	ご意見については、施策の基本的な方向として科学技術に係る活動等の情報発信と科学技術と社会の対話として位置付けており、県民の皆様が科学技術に裏付けられた情報をもとに、より豊かな生活を送ることができるよう、積極的に情報発信してまいります。
43	4	人文社会系の研究者と共に進めていただきたい。	B	ご意見については、基本目標3「課題解決と未来創生に挑戦するイノベーション人材が輝く共創の場の形成」に係る内容として記載しており、人文科学の視点も取り入れた総合的な施策を展開してまいります。
44	3	理工学部に加えて人文科学部を持っている大学を含めた総合的な連携を進めて欲しい。	B	ご意見については、基本目標3「課題解決と未来創生に挑戦するイノベーション人材が輝く共創の場の形成」に係る内容として記載しており、人文科学の視点も取り入れた総合的な施策を展開してまいります。
45	3	理工系人材と人文社会系人材の連携が重要である。特に起業家人材は、理工系人材には経営学やビジネスマインドの習得等を、経営人材には理工科学の基礎的知識の習得等を、育成していくような仕組みが重要である。	B	ご意見については、基本目標3「課題解決と未来創生に挑戦するイノベーション人材が輝く共創の場の形成」に係る内容として記載しており、人文科学の視点も取り入れた総合的な施策を展開してまいります。

意見の内訳(意見分類): 1 生活・環境 / 2 産業 / 3 人材育成・共創の場 / 4 全般・その他

意見の反映状況(反映区分): A 大綱に反映する意見 / B 意見の趣旨が既に大綱に反映している意見 / C 今後の参考とする意見 / D 大綱に反映できない意見 / E その他

意見番号	意見分類	意見要旨	反映区分	県の考え方
46	4	難しい言葉が多すぎて理解するのに時間がかかるし分かりにくいのでわかりやすい言葉で説明してほしい。	C	ご意見については、大綱を冊子として取りまとめていく中で附属資料を充実させるなど、分かりやすい・伝わりやすい表現になるよう努めてまいります。
47	4	施策も説明だけでは分かりにくいので、具体例や過去のイベント名等を挙げてもらうとわかりやすい。	C	ご意見については、大綱を冊子として取りまとめていく中で附属資料を充実させるとともに、様々な機会を捉え情報発信することを検討してまいります。
48	4	色々と活動を予定されているようだが、予算は大丈夫なのか。	C	施策例に記載されている事業は予算が確保されておりますが、今後の施策の展開に当たっては、県予算以外の資金調達方法を検討するなど、持続可能な施策の展開を目指してまいります。
49	4	首都圏に位置し自然、文化、歴史がある神奈川県らしい施策の展開を期待している。	B	ご意見については、神奈川の地域の特徴として記載しており、地域の特徴や恵まれた資源を十分に生かしながら、神奈川県らしい科学技術による豊かな社会創りに取り組んでまいります。
50	4	神奈川県の実験研究機関の研究には大変期待している。	B	県実験研究機関においては、それぞれの目的に沿った研究を推進しながら、将来のイノベーション創出のための研究シーズの発掘に努めるとともに、大学や企業、研究機関等との連携を図りながら、新たな高付加価値産業の創出や異分野間の連携も視野に入れ、研究活動を展開してまいります。
51	4	神奈川県の実験研究センターや水産技術センターなどの実験研究機関の取組には大変期待している。	B	県実験研究機関においては、それぞれの目的に沿った研究を推進しながら、将来のイノベーション創出のための研究シーズの発掘に努めるとともに、大学や企業、研究機関等との連携を図りながら、新たな高付加価値産業の創出や異分野間の連携も視野に入れ、研究活動を展開してまいります。
52	4	県実験研究機関は、地域課題やニーズを良く承知しており、その役割は重要であると考えている。産学公連携をリードすることに期待する。	B	県実験研究機関においては、それぞれの目的に沿った研究を推進しながら、将来のイノベーション創出のための研究シーズの発掘に努めるとともに、大学や企業、研究機関等との連携を図りながら、新たな高付加価値産業の創出や異分野間の連携も視野に入れ、研究活動を展開してまいります。
53	4	県実験研究機関は、行政の中での科学技術を担っている。今回の科学技術政策大綱は、科学技術と対話の視点を大切にしているので県実験研究機関の役割は重要である。	B	県実験研究機関においては、それぞれの目的に沿った研究を推進しながら、将来のイノベーション創出のための研究シーズの発掘に努めるとともに、大学や企業、研究機関等との連携を図りながら、新たな高付加価値産業の創出や異分野間の連携も視野に入れ、研究活動を展開してまいります。
54	4	重点研究分野は、いずれも適切なものだと感じた。	B	県実験研究機関においては、それぞれの目的に沿った研究を推進しながら、将来のイノベーション創出のための研究シーズの発掘に努めるとともに、大学や企業、研究機関等との連携を図りながら、新たな高付加価値産業の創出や異分野間の連携も視野に入れ、研究活動を展開してまいります。



意見の内訳(意見分類): 1 生活・環境 / 2 産業 / 3 人材育成・共創の場 / 4 全般・その他

意見の反映状況(反映区分): A 大綱に反映する意見 / B 意見の趣旨が既に大綱に反映している意見 / C 今後の参考とする意見 / D 大綱に反映できない意見 / E その他

意見番号	意見分類	意見要旨	反映区分	県の考え方
55	4	素案のビジョンを確実に実現するために、県の地域ニーズに合わせて個別に開発を進めている県試験研究機関での基盤技術と、地域大学等有する最先端シーズ技術との融合発展が重要だと思います。	B	県試験研究機関においては、それぞれの目的に沿った研究を推進しながら、将来のイノベーション創出のための研究シーズの発掘に努めるとともに、大学や企業、研究機関等との連携を図りながら、新たな高付加価値産業の創出や異分野間の連携も視野に入れ、研究活動を展開してまいります。
56	4	研究成果が神奈川県民をはじめとする多くの方に広く役立つことが必要だと考える。	B	科学技術の社会実装を促進し、その成果をより効果的に県民の皆様に届けることができるよう、神奈川県によるコーディネートの視点から、ヒト・モノ・カネを繋ぎ、産学公連携のリード役を発揮しながら施策を展開してまいります。
57	4	神奈川県は平成当初から科学技術政策を推進してきた先進性がある。SDGs等の観点からも、神奈川県が地方自治体としての科学技術政策のリード役を果たしていくことも重要である。	B	科学技術の社会実装を促進し、その成果をより効果的に県民の皆様に届けることができるよう、神奈川県によるコーディネートの視点から、ヒト・モノ・カネを繋ぎ、産学公連携のリード役を発揮しながら施策を展開してまいります。
58	4	神奈川県は山と海と都市が調和する豊かな地域なので、その持続可能な地域社会実現のために、県試験研究機関が産学公のリード役を発揮することが重要である。	B	科学技術の社会実装を促進し、その成果をより効果的に県民の皆様に届けることができるよう、神奈川県によるコーディネートの視点から、ヒト・モノ・カネを繋ぎ、産学公連携のリード役を発揮しながら施策を展開してまいります。
59	4	神奈川県内は、大学や企業の集積が豊富であり首都圏とも一体的に活動を展開できるので、県が大学や企業と連携して産学公連携のリード役を発揮してほしい。	B	科学技術の社会実装を促進し、その成果をより効果的に県民の皆様に届けることができるよう、神奈川県によるコーディネートの視点から、ヒト・モノ・カネを繋ぎ、産学公連携のリード役を発揮しながら施策を展開してまいります。
60	4	今回の大綱改正のポイントの一つであるイノベーションの推進は、地域から世界に貢献し、地域を豊かにしていく重要な政策だと思います。県の積極的なコーディネートに期待しています。	B	科学技術の社会実装を促進し、その成果をより効果的に県民の皆様に届けることができるよう、神奈川県によるコーディネートの視点から、ヒト・モノ・カネを繋ぎ、産学公連携のリード役を発揮しながら施策を展開してまいります。
61	4	我が国には先進的な科学技術は既に多数存在するが、その社会実装が遅れている。	B	科学技術の社会実装を促進し、その成果をより効果的に県民の皆様に届けることができるよう、神奈川県によるコーディネートの視点から、ヒト・モノ・カネを繋ぎ、産学公連携のリード役を発揮しながら施策を展開してまいります。
62	1・2	新しい技術を開発するのも重要であるが、その技術を県民の暮らしをよりよくするために活用されることを期待している。	B	科学技術の社会実装を促進し、その成果をより効果的に県民の皆様に届けることができるよう、神奈川県によるコーディネートの視点から、ヒト・モノ・カネを繋ぎ、産学公連携のリード役を発揮しながら施策を展開してまいります。
63	4	県民等と研究機関との意見交換は大変重要であり、大綱素案にある「県民と研究機関等の対話を推進する」という視点は大変良いと思います。	B	「科学技術」と「社会」の対話の視点を大切にして、継続的な情報発信や双方向のコミュニケーション活動などを行い、生活の質の向上や産業の振興に貢献してまいります。

意見の内訳(意見分類): 1 生活・環境 / 2 産業 / 3 人材育成・共創の場 / 4 全般・その他

意見の反映状況(反映区分): A 大綱に反映する意見 / B 意見の趣旨が既に大綱に反映している意見 / C 今後の参考とする意見 / D 大綱に反映できない意見 / E その他

意見番号	意見分類	意見要旨	反映区分	県の考え方
64	4	関係資料1を拝見しましたが、県試験研究機関がこれほどの成果をあげていることは知らなかった。言葉だけでなく、資料にまとめていただけているのでとても分かりやすかった。	B	「科学技術」と「社会」の対話の視点を大切にして、継続的な情報発信や双方向のコミュニケーション活動などを行い、生活の質の向上や産業の振興に貢献してまいります。
65	4	今後も今までの行政のような資料にとらわれない、県民にわかりやすい資料で情報を発信していただけることに期待。	B	「科学技術」と「社会」の対話の視点を大切にして、継続的な情報発信や双方向のコミュニケーション活動などを行い、生活の質の向上や産業の振興に貢献してまいります。
66	3	科学技術と社会の対話は、双方向のコミュニケーションとして取り組むことが重要である。	B	「科学技術」と「社会」の対話の視点を大切にして、継続的な情報発信や双方向のコミュニケーション活動などを行い、生活の質の向上や産業の振興に貢献してまいります。
67	3	社会との対話の視点を大切にしながら、とあつたため、県民の意見を聞く場をより広く設けたほうが良いのではないかと思った。	B	「科学技術」と「社会」の対話の視点を大切にして、継続的な情報発信や双方向のコミュニケーション活動などを行ってまいります。
68	3	県がこういった取り組みを行なっているということをもっと周知させることを期待したい。	B	「科学技術」と「社会」の対話の視点を大切にして、継続的な情報発信や双方向のコミュニケーション活動などを行うとともに、様々な機会を捉え情報発信することを検討してまいります。
69	3	大綱では、県内等の様々な機関・企業等と連携をし、科学技術に触れ関心をもつ機会を提供するとの記載があり、夏休み等の長期休暇を利用しサイエンスサマーの実施や、年間の中で継続的な取り組みとして県内小中学校への研究者や技術者の派遣など科学技術に触れる機会の提供は多くなっていると感じた。	B	「科学技術」と「社会」の対話の視点を大切にして、継続的な情報発信や双方向のコミュニケーション活動などを行い、生活の質の向上や産業の振興に貢献してまいります。
70	4	今後も「県民と研究機関機関等の対話を推進する」視点を重視して施策の立案を進めていただきますようお願いいたします。	B	ご意見については、各機関の活動の方向性として記載しており、地域ニーズを踏まえ、生活・環境の安全確保や安全・安心で豊かな食の提供等、地域課題の解決に向けた研究やモニタリング・普及・実証活動などを行うとともに、継続的な情報発信や双方向のコミュニケーション活動などを行い、生活の質の向上や産業の振興に貢献してまいります。
71	4	県民からは遠い科学技術がより身近になることを期待する。	B	ご意見については、各機関の活動の方向性として記載しており、地域ニーズを踏まえ、生活・環境の安全確保や安全・安心で豊かな食の提供等、地域課題の解決に向けた研究やモニタリング・普及・実証活動などを行うとともに、継続的な情報発信や双方向のコミュニケーション活動などを行い、生活の質の向上や産業の振興に貢献してまいります。
72	1	県試験研究機関が産業だけでなく、安全・安心で豊かな生活・環境の実現でリード役を発揮することを期待する。	B	ご意見については、各機関の活動の方向性として記載しており、地域ニーズを踏まえ、生活・環境の安全確保や安全・安心で豊かな食の提供等、地域課題の解決に向けた研究やモニタリング・普及・実証活動などを行うとともに、継続的な情報発信や双方向のコミュニケーション活動などを行い、生活の質の向上や産業の振興に貢献してまいります。

意見の内訳(意見分類): 1 生活・環境 / 2 産業 / 3 人材育成・共創の場 / 4 全般・その他

意見の反映状況(反映区分): A 大綱に反映する意見 / B 意見の趣旨が既に大綱に反映している意見 / C 今後の参考とする意見 / D 大綱に反映できない意見 / E その他

意見番号	意見分類	意見要旨	反映区分	県の考え方
73	4	全世界的に取り組む必要のあるような大きな課題(地球温暖化やエネルギー問題など)よりも、県内で生じている小さな課題(水質・大気汚染改善、農業・畜産の効率化、デジタル化推進など)に積極的に取り組むような政策を期待する。	B	ご意見については、各機関の活動の方向性として記載しており、地域ニーズを踏まえ、生活・環境の安全確保や安全・安心で豊かな食の提供等、地域課題の解決に向けた研究やモニタリング・普及・実証活動などを行うとともに、継続的な情報発信や双方向のコミュニケーション活動などを行い、生活の質の向上や産業の振興に貢献してまいります。
74	4	人生100年時代に対応することは急務であると感じている。	B	「最先端医療・最新技術の追求」と「未病(ME-BYO)の改善」の2つのアプローチを融合させたヘルスケア・ニューフロンティアの取組を推進すること等により、健康長寿社会と新たな市場・産業の創出を目指してまいります。
75	2	食料不足に対応することは急務であると感じている。	B	経済安全保障の観点からも、食など生活の基盤となる分野において、国際競争力が高く、持続可能でリスクに強い産業に寄与する科学技術の創出に取り組んでまいります。
76	1	大綱素案第4章の施策例に記載の「安全・安心で豊かな食品の提供」についてなどの施策例は非常に重要だと考える。	B	地域ニーズを踏まえ、安全・安心で豊かな食の提供等、地域課題の解決に向けた研究やモニタリング・普及・実証活動などに取り組んでまいります。
77	4	科学技術が社会(一般住民)のために存在すること、という認識が明記されているのは素晴らしいです。	B	科学技術が社会のために存在・活動することなどを基本認識として持ちながら、施策を展開してまいります。
78	4	専門的な研究は、学問としての価値と実用の価値が切り離されて進められてしまうと感じている。県民の税金を投じて進める施策なので、必ず一般人が最終的に便益を受けられる技術に注力してほしい。	B	ご意見については、重点的な研究活動を展開する際の基本原則として記載しており、より効果的に科学技術の成果を生み出し活用していくために、選択と集中の観点を踏まえ、社会課題と合致するかという視点から研究を推進してまいります。
79	4	産業の創出・育成は重要だが、将来の神奈川の礎となる産業を見極めないと限られた投資が分散する。こうしたことがないよう、しっかりと議論を深めてもらいたい。	B	ご意見については、重点的な研究活動を展開する際の基本原則として記載しており、より効果的に科学技術の成果を生み出し活用していくために、選択と集中の観点を踏まえ推進してまいります。
80	4	科学技術の成果を県民に届けるためにとあり、専門家会議や指標の選定等が挙げられているが、まずは県民に分かりやすく研究中の技術を発信するところからではないでしょうか。	B	ご意見については、施策の基本的な方向として科学技術に係る活動等の情報発信と科学技術と社会の対話を位置付けており、科学技術に係る活動やその成果について、多様な発信手法や媒体を活用し、積極的に情報発信するとともに、対話型の科学技術活動など研究者と県民の皆様を繋ぐ双方向のコミュニケーション活動を推進してまいります。
81	4	今回の大綱では、社会との対話がクローズアップされており、具体的な取組に力を入れてもらいたい。	B	ご意見については、施策の基本的な方向として科学技術に係る活動等の情報発信と科学技術と社会の対話を位置付けており、科学技術に係る活動やその成果について、多様な発信手法や媒体を活用し、積極的に情報発信するとともに、対話型の科学技術活動など研究者と県民の皆様を繋ぐ双方向のコミュニケーション活動を推進してまいります。

意見の内訳(意見分類): 1 生活・環境 / 2 産業 / 3 人材育成・共創の場 / 4 全般・その他

意見の反映状況(反映区分): A 大綱に反映する意見 / B 意見の趣旨が既に大綱に反映している意見 / C 今後の参考とする意見 / D 大綱に反映できない意見 / E その他

意見番号	意見分類	意見要旨	反映区分	県の考え方
82	3	県試験研究機関の成果が列挙されていたが、知らないことばかりであった。自分からそのような情報を探していない私に問題があるかもしれないが、もっとどのような研究をしているのか県民が知りやすい状況、より身近に感じられるような工夫が必要ではないかと感じた。	B	ご意見については、施策の基本的な方向として科学技術に係る活動等の情報発信と科学技術と社会の対話を位置付けており、科学技術に係る活動やその成果について、多様な発信手法や媒体を活用し、積極的に情報発信するとともに、対話型の科学技術活動など研究者と県民の皆様を繋ぐ双方向のコミュニケーション活動を推進してまいります。
83	4	デジタル技術活用についての明記されているのは良いと思います。	B	革新的なデジタル技術の活用を促進することで、誰もが自分らしく豊かな生活を過ごせるような、地域社会の実現を目指してまいります。
84	4	科学者とITエンジニア等、異なる分野の専門家同士が出会い化学反応を起こす場があれば、思いもよらない成果につながると思います。	B	大学や企業及び自治体が組織や分野の枠を超えて連携する異分野融合プロジェクトを推進するとともに、各拠点の特色を生かした共創活動を展開し拠点間の連携も進めてまいります。
85	4	神奈川県は、昔から科学技術政策に取り組んでいることは承知している。自治体が現場で科学技術を推進して科学技術を活用することが大切であるので、しっかりと取り組んでほしい。	B	ご意見については、各機関の活動の方向性として記載しており、科学技術の成果の社会での活用が促進されるよう、産業や生活、現場の視点や時間軸を大切に、顕在的・潜在的ニーズを意識した研究を推進してまいります。
86	4	ヘルスケアニューフロンティアは、「最先端医療・技術の追求」と「未病の改善」の2つのアプローチの融合と書いてある。この具体化を進めることが大切である。	A	ご意見については、ヘルスケア・ニューフロンティアの「最先端医療・最新技術の追求」と「未病(ME-BYO)の改善」の2つのアプローチを融合させた取組の具体例として、未病を数値等で見える化し、技術・サービスの提供・介入等で行動変容を促進することを記載いたしました。
87	4	ヘルスケアニューフロンティアは、未病を見える化して、行動変容を促し未病を改善することが大切であり、最先端技術・医療が必要となる。最先端技術・医療と未病改善の融合が大切である。	A	ご意見については、ヘルスケア・ニューフロンティアの「最先端医療・最新技術の追求」と「未病(ME-BYO)の改善」の2つのアプローチを融合させた取組の具体例として、未病を数値等で見える化し、技術・サービスの提供・介入等で行動変容を促進することを記載いたしました。
88	4	未病指標の取組に興味がある。未病を見える化した際は、その状態を改善するために、どのような最先端技術がサービスがあるのかを知りたい。	A	ご意見については、ヘルスケア・ニューフロンティアの「最先端医療・最新技術の追求」と「未病(ME-BYO)の改善」の2つのアプローチを融合させた取組の具体例として、未病を数値等で見える化し、技術・サービスの提供・介入等で行動変容を促進することを記載いたしました。
89	4	「最先端医療・技術の追求」と「未病の改善」を融合展開するヘルスケア・ニューフロンティアは、新産業創出と健康長寿を進めていくことなので、ヘルスケア・ニューフロンティアの活動を是非具体化してほしい。	A	ご意見については、ヘルスケア・ニューフロンティアの「最先端医療・最新技術の追求」と「未病(ME-BYO)の改善」の2つのアプローチを融合させた取組の具体例として、未病を数値等で見える化し、技術・サービスの提供・介入等で行動変容を促進することを記載いたしました。
90	4	未病を見える化した後は、その状態を改善するための最先端技術等の提供が必要ではないか。そのような総合的な取組を展開していくことに期待する。	A	ご意見については、ヘルスケア・ニューフロンティアの「最先端医療・最新技術の追求」と「未病(ME-BYO)の改善」の2つのアプローチを融合させた取組の具体例として、未病を数値等で見える化し、技術・サービスの提供・介入等で行動変容を促進することを記載いたしました。

意見の内訳(意見分類): 1 生活・環境 / 2 産業 / 3 人材育成・共創の場 / 4 全般・その他

意見の反映状況(反映区分): A 大綱に反映する意見 / B 意見の趣旨が既に大綱に反映している意見 / C 今後の参考とする意見 / D 大綱に反映できない意見 / E その他

意見番号	意見分類	意見要旨	反映区分	県の考え方
91	2	神奈川県は、科学技術のポテンシャルや産業の集積に富んでいる。全国モデルとなるような科学技術イノベーションの取組に期待したい。	B	ご意見については、県の役割として国内外との交流・連携・展開を記載しており、神奈川県発の技術を世界にも展開できるよう、国内外との交流・連携・展開も図る、という複眼的な視点で、科学技術イノベーション活動を推進してまいります。
92	4	国内外と比較しても遜色ない実効性ある具体策を推進してもらいたい。	B	ご意見については、県の役割として国内外との交流・連携・展開を記載しており、神奈川県発の技術を世界にも展開できるよう、国内外との交流・連携・展開も図る、という複眼的な視点で、科学技術イノベーション活動を推進してまいります。
93	4	県試験研究機関は、科学技術と社会を繋ぐ役割を持っているため、そのコーディネート力が大切である。	B	関係機関と連携・協働しながら、コーディネート機能を発揮してまいります。
94	3	地方自治体と国立大学の連携は大切だと考える。	B	公的役割の担い手である県と大学等との連携・協働を強化し、企業や地域社会も加え、科学技術を活用する総合的施策展開を図るとともに、多様な人材の育成に向けた取組を推進してまいります。
95	4	未病についても、科学的なアプローチは大切である。	B	引き続き未病の科学的なエビデンスの確立に取り組んでまいります。
96	4	未病指標に力を入れているようだが、科学技術の取組を強化して欲しい。	B	ご意見については、施策の基本的な方向として健康長寿社会の実現に寄与する科学技術活動の展開を位置付けており、引き続き未病の科学的なエビデンスの確立に取り組んでまいります。
97	4	ヘルスケアニューフロンティアは、大切な取り組みである。自治体がこのような取組を進めることは必要である。	B	ご意見については、ヘルスケア・ニューフロンティアの取組として記載しており、「最先端医療・最新技術の追求」と「未病(ME-BYO)の改善」の2つのアプローチを融合させた取組を進めてまいります。
98	3	大綱の基本目標3にも記載があるが、失敗を恐れずに挑戦してほしい。	B	基本目標3に記載した、失敗を恐れずに挑戦し続ける「人」を評価し、失敗を許容し、再挑戦を促すことができる環境の整備と、社会文化の形成を目指して取り組んでまいります。
99	3	ベンチャー企業等の経験者を上手く伸ばしていくことで、イノベーション人材が輝く場が必要であるとする。	B	基本目標3に記載した、失敗を恐れずに挑戦し続ける「人」を評価し、失敗を許容し、再挑戦を促すことができる環境の整備と、社会文化の形成を目指して取り組んでまいります。

意見の内訳(意見分類): 1 生活・環境 / 2 産業 / 3 人材育成・共創の場 / 4 全般・その他

意見の反映状況(反映区分): A 大綱に反映する意見 / B 意見の趣旨が既に大綱に反映している意見 / C 今後の参考とする意見 / D 大綱に反映できない意見 / E その他

意見番号	意見分類	意見要旨	反映区分	県の考え方
100	3	ベンチャー企業で失敗した人材が、再挑戦可能な仕組みや環境整備が大切である。	B	基本目標3に記載した、失敗を恐れず挑戦し続ける「人」を評価し、失敗を許容し、再挑戦を促すことができる環境の整備と、社会文化の形成を目指して取り組んでまいります。
101	3	第1章の基本目標に共感しました。失敗を恐れず挑戦し続ける「人」を評価し、失敗を許容し、再挑戦を促すことができる環境の整備をぜひ推進してください。科学技術の分野だけでなく、これからの社会に求められているものだと感じています。再チャレンジが可能な社会、文化創りに協力したいと思っています。	B	基本目標3に記載した、失敗を恐れず挑戦し続ける「人」を評価し、失敗を許容し、再挑戦を促すことができる環境の整備と、社会文化の形成を目指して取り組んでまいります。
102	2	殿町や湘南アイパークといったイノベーション拠点の形成が進んできていることが非常に良い。新産業を生み出して欲しい。	B	ご意見については、基本目標2「持続可能な産業の創出・育成による地域経済の活性化」に係る内容として記載しており、日本の国際競争力強化に繋がる新産業の創出や育成を進めてまいります。
103	3	かながわサイエンスパークは、神奈川県科学技術政策の発祥の地である。首都圏の科学技術ポテンシャルを生かす拠点としての活動に期待したい。	B	神奈川の科学技術イノベーション活動を重点的に行う拠点として、かながわサイエンスパークなどを中心に、大学や企業及び自治体が組織や分野の枠を超えて連携する異分野融合プロジェクトを推進するとともに、拠点の特色を生かした共創活動を展開し拠点間の連携も進めてまいります。
104	3	県試験研究機関は、神奈川県全域に現場を持って立地している。大学や企業との連携を強化して課題解決を進めて欲しい。	B	ご意見については、各機関の活動の方向性として県試験研究機関の活動を位置付けており、地域ニーズを踏まえ、生活環境の安全確保や安全・安心で豊かな食の提供等、地域課題の解決に向けた研究やモニタリング・普及・実証活動などを行ってまいります。また、これらの取組に当たっては、幅広い分野への成果展開や、大学や企業と連携した課題解決力の向上などの未来を見据えた取組をより一層強化してまいります。
105	3	殿町は、東京国際空港の近くに立地しグローバル化としての地域的優位性がある。再生細胞医療を神奈川県は力を入れているようなので、医療機器や創薬との分野とも連携して神奈川発の技術を実用化してほしい。	B	神奈川の科学技術イノベーション活動を重点的に行う拠点として、殿町などを中心に、大学や企業及び自治体が組織や分野の枠を超えて連携する異分野融合プロジェクトを推進するとともに、拠点の特色を生かした共創活動を展開し拠点間の連携も進めてまいります。
106	3	武田薬品湘南研究所が、民間主導で神奈川県と連携しながら湘南アイパークとして展開していることは、素晴らしいことである。しかし、湘南アイパークには大学等が組織的に連携していないので、そのような活動を県がコーディネートすべきである。	B	神奈川の科学技術イノベーション活動を重点的に行う拠点として、殿町などを中心に、大学や企業及び自治体が組織や分野の枠を超えて連携する異分野融合プロジェクトを推進するとともに、拠点の特色を生かした共創活動を展開し拠点間の連携も進めてまいります。
107	3	湘南アイパークが立地する地域は、湘南鎌倉総合病院や新駅・まちづくりもあるので、大学等とも連携して、科学技術を使って未来社会に向けた総合的な取組を推進してほしい。	B	神奈川の科学技術イノベーション活動を重点的に行う拠点として、殿町などを中心に、大学や企業及び自治体が組織や分野の枠を超えて連携する異分野融合プロジェクトを推進するとともに、拠点の特色を生かした共創活動を展開し拠点間の連携も進めてまいります。
108	3	湘南アイパークには、製薬企業だけでなくいろいろな企業が集積してきていると聞いている。異分野でのオープンイノベーションを進める拠点として期待できるので、神奈川県も連携を深めてほしい。	B	神奈川の科学技術イノベーション活動を重点的に行う拠点として、殿町などを中心に、大学や企業及び自治体が組織や分野の枠を超えて連携する異分野融合プロジェクトを推進するとともに、拠点の特色を生かした共創活動を展開し拠点間の連携も進めてまいります。

意見の内訳(意見分類): 1 生活・環境 / 2 産業 / 3 人材育成・共創の場 / 4 全般・その他

意見の反映状況(反映区分): A 大綱に反映する意見 / B 意見の趣旨が既に大綱に反映している意見 / C 今後の参考とする意見 / D 大綱に反映できない意見 / E その他

意見番号	意見分類	意見要旨	反映区分	県の考え方
109	3	「共創の場」とコンセプトはとも良いと思うが、もう少しわかりやすくしてほしい。	C	ご意見については、大綱を冊子として取りまとめていく中で附属資料を充実させるなど、分かりやすい・伝わりやすい表現になるよう努めてまいります。
110	3	科学技術人材の育成が重要だと考える。興味関心が生まれる小学校高学年をターゲットとした理解増進施策や科学技術に接する機会の提供強化が重要だと考える。	B	ご意見については、施策の基本的な方向として子どもたちの科学技術に対する興味・関心の喚起を位置付けており、次世代の科学技術を担う人材を育成するため、子どもたちや子どもたちを支える家族などに対して、様々な機関と連携しながら科学技術に触れる多様な機会を提供することで、子どもたちの創造性・探究心・主体性・チャレンジ精神を育み、科学やものづくりに対する興味・関心を高めてまいります。
111	3	神奈川県のコディネート機能強化がうたわれているが、神奈川県職員の科学技術人材の育成が重要である。	B	科学技術人材については、県及び関係機関が、科学技術イノベーションの推進・利活用の当事者として、科学技術を社会に繋げていくための多種多様なコディネート機能を発揮していく中で、実践的に育成してまいります。
112	3	産学公連携プロジェクトの立案や知的財産について一定の知識・経験を積み重ねていく実践的な県職員の育成が大切だと考える。	B	産学公連携プロジェクト等の推進に当たっては、県及び関係機関が、科学技術イノベーションの推進・利活用の当事者として、科学技術を社会に繋げていくための多種多様なコディネート機能を発揮していく中で、実践的に人材を育成してまいります。
113	3	神奈川県には、殿町にライフイノベーションセンターがあるので、殿町を中心に重点的かつ継続的に再生細胞医療の社会実装に取り組むべきである。	B	ご意見については、施策の基本的な方向としてフィールドを活用した実証活動の展開と科学的データの蓄積と利活用を位置付けており、「ライフイノベーションセンター」を中心とした再生・細胞医療分野の産業化促進事業の推進などに取り組んでまいります。
114	3	京浜臨海部の理化学研究所横浜研究所は、神奈川に立地する独創的な研究機関なので、連携を深めてほしい。	B	ご意見については、施策の基本的な方向としてサイエンスパーク等のイノベーション拠点の活動を位置付けており、理化学研究所横浜事業所などにおける科学技術イノベーション拠点間連携の推進などに取り組んでまいります。
115	3	京浜臨海部ライフイノベーション国際総合戦略特区は、神奈川県・横浜市・川崎市が連携して取り組んできているが、新しい技術を生み出していくことが求められる。引き続き政令市と神奈川県が連携して取り組んでほしい。	B	ご意見については、第5章に地域における科学技術振興、国や市町村との連携・協働として記載しており、施策の効果が最大限発揮されるよう、県は広域的な視点を持ち、密に連携を取りながら、政令市をはじめとする県内市町村と相互に連携・協働してまいります。
116	4	神奈川県立産業技術総合研究所は、神奈川県の科学技術政策推進の中核機関だと思う。	B	産技総研は、基礎研究から事業化まで一貫した企業支援を行うイノベーション創出支援機関として、より広範な活動に取り組みを進めてまいります。
117	2	神奈川県立産業技術総合研究所は、平成当初から創造的な研究環境を地域で生み出し、現在は、大学等の有望シーズを地域で育てる大学発ベンチャーの創出や、産業界全体に貢献する評価活動を展開しているようだが、このような活動は他自治体では行っていないので、今後の活動に期待する。	B	ご意見については、各機関の活動の方向性に記載しており、産技総研は神奈川発のイノベーション創出を支援するため、「研究開発」、「技術支援」、「事業化支援」、「人材育成」、「連携交流」の5つの柱で事業を推進してまいります。また、これまで積み上げてきた実績と知見を活かし、企業支援ネットワークの中心的機関として、大学や企業等との連携に取り組んでまいります。

意見の内訳(意見分類): 1 生活・環境 / 2 産業 / 3 人材育成・共創の場 / 4 全般・その他

意見の反映状況(反映区分): A 大綱に反映する意見 / B 意見の趣旨が既に大綱に反映している意見 / C 今後の参考とする意見 / D 大綱に反映できない意見 / E その他

意見番号	意見分類	意見要旨	反映区分	県の考え方
118	2	社堂に立地する湘南ロボケアセンターのロボットスーツHALなど、神奈川県は最先端の科学技術を社会実装する活動を展開してきた。このような先進的な活動を今後も強化していくことを強く望む。	B	ご意見については、施策の基本的な方向としてフィールドを活用した実証活動の展開と科学的データの蓄積と利活用を位置付けており、新たなヘルスケア関連技術の社会実装に向けた施策を展開してまいります。
119	2	神奈川県の記者発表でも、新型コロナウイルスで取り組んでいた迅速検査法スマートアンプ法は、数年前から神奈川県が関係機関と取り組んできたと聞いた。先手を打った取組は公的機関の役割だと思うので、リスクをとって挑戦してほしい。	B	ご意見については、県の役割として地域活力の形成と地域社会への貢献を記載しており、多様化する将来の潜在的な社会ニーズを、常に現場の視点から捉え、産学公連携活動を推進して地域社会に展開してまいります。
120	4	行政機関として、科学技術や試験研究を推進して取り組むことは大変有意義だと思いますし、今後もぜひ推進していただきたいです。	B	ご意見については、県の役割として地域活力の形成と地域社会への貢献を記載しており、多様化する将来の潜在的な社会ニーズを、常に現場の視点から捉え、産学公連携活動を推進して地域社会に展開してまいります。
121	1・2	神奈川県の農地は、安全安心な食を地産地消で提供するとともに、都市の中における豊かな空間提供という多面的な価値を有している。このような視点も大切にほしい。	C	かながわらしい地産地消を推進するための技術開発に取り組むとともに、ご意見については、洪水防止や生物の生息空間の提供など多面的機能の発揮を促進するための地域活動を支援してまいります。
122	1・2	持続可能な社会のためには、地球環境との調和が大切であり、脱炭素やエネルギーなどの取組に神奈川県が貢献していくことが必要である。	B	ご意見については、県試験研究機関等の活動の方向性として重点的な研究活動の展開に重点研究目標を記載しており、エネルギー／脱炭素についても位置付けております。県試験研究機関等においては、それぞれの目的に沿った研究を推進しながら、将来のイノベーション創出のための研究シーズの発掘に努めるとともに、大学や企業、研究機関等との連携を図りながら、新たな高付加価値産業の創出や異分野間の連携も視野に入れ、研究活動を展開してまいります。
123	4	超高齢社会を迎える中で、神奈川県の未病の取組には勇気づけられた。病気と健康の間のグラデーションという未病の考え方、そしてそれは毎日変化するということは、人が生活する中で非常に大切な考え方である。	B	健康長寿社会の実現に寄与する科学技術活動を展開していく中で、未病の科学的なエビデンスの確立や健康に寄与する検査・モニタリング活動に取り組んでまいります。
124	4	3大疾病や認知症などの分野において、科学技術政策を推進してきた神奈川県らしいヘルスケアニューフロンティアの取組を進めてほしい。	B	ご意見については、施策の基本的な方向として健康長寿社会の実現に寄与する科学技術活動の展開を位置付けており、疾病対策の推進などに取り組んでまいります。
125	1	神奈川県は、海に囲まれる豊かな地域である。水産資源の持続的な育成・確保などについての取組を進めてほしい。	B	水産資源の持続可能性の向上に向け、豊かな生態系を育むための漁場環境や水産資源の管理、栽培漁業に関する研究に取り組んでまいります。
126	1	神奈川県は、太平洋プレートの関係もあって県西部地震が心配されるなど、地震等に対する一層の取組が重要である。温泉地学研究所があることは県民から見ると頼もしく、今後も活動を展開してほしい。	B	温泉地学研究所においては、引き続き自然災害等に対応する研究・モニタリング活動などに取り組んでまいります。



意見の内訳(意見分類): 1 生活・環境 / 2 産業 / 3 人材育成・共創の場 / 4 全般・その他

意見の反映状況(反映区分): A 大綱に反映する意見 / B 意見の趣旨が既に大綱に反映している意見 / C 今後の参考とする意見 / D 大綱に反映できない意見 / E その他

意見番号	意見分類	意見要旨	反映区分	県の考え方
127	1・2	神奈川の農業には、狭い土地の中で効率的に農産物を生産すること、環境と調和しながらの先進的な農業、最先端のゲノム技術やロボット技術を農業現場に導入すること、など色々な可能性があるため、先進的な活動を強化して欲しい。	B	農業技術センターを中心に、環境に調和する農業を推進するための技術開発や、農業振興のための技術開発などに取り組んでまいります。
128	2	神奈川の畜産業は、都市の中での継続推進は難しいかもしれないが、畜産業は食育の観点等からも多様な価値があるので、何とか継続推進できるように頑張してほしい。	B	畜産技術センターを中心に、畜舎における臭気の発生抑制・脱臭の技術開発や、家畜排せつ物処理における環境負荷低減技術の開発などととも、畜産業振興に取り組んでまいります。
129	1	自然環境保全センターは、県民と連携してユニークな活動を展開している。無花粉スギやヒノキも活動など独自の成果も出している。その特徴を引き続き伸ばしてほしい。	B	自然環境保全センターにおいては、引き続き花粉のないスギ・ヒノキの開発等による森林・林業の再生への支援に取り組むとともに、丹沢大山や水源地域の自然環境・水源環境の保全と再生に向けた取組など、生活に繋がる活動を推進してまいります。
130	4	神奈川県衛生研究所は、化学物質の発がん検査で世界的な研究成果も出してきたことを以前新聞で見たことがある。神奈川県最先駆的な科学技術政策として誇るべき成果だと思う	B	衛生研究所が開発した化学物質等の発がん性予測試験はOECDの発がん性評価試験法に係る活動で注目されています。引き続き本県発の国際標準試験法の確立を推進するとともに、疾病対策の推進や放射線等のモニタリング活動等、安全・安心で豊かな生活・環境を実現する科学技術活動を展開してまいります。
131	1	環境科学センターは、プラスチックの取組等で先駆的な活動を実施してきたが、今後も県民と連携協働したエビデンスのある環境活動の展開に貢献してほしい。	B	環境科学センターにおいては、引き続き生活環境の保全や気候変動、熱中症対策に関する調査を実施するとともに、地域の環境活動の中心的役割を果たす環境学習リーダー等の育成・支援など、これまでに蓄積したデータや科学的な知見を生かし、県民の皆様と連携協働した活動に取り組んでまいります。
132	3	地方自治体と国立大学の連携強化は必須の時代であり、横浜国立大学は神奈川県に立地する総合大学のため、神奈川県科学技術政策との連携を強化してほしい。	B	ご意見については、各機関の活動の方向性として神奈川県による地域の大学・企業等との連携・協働の活動を位置付けており、特に、横浜国立大学などの地域の大学等とは、「新たな社会・経済システムの提案」や「イノベーションの創出・科学技術の発展」のような地域貢献に資する活動を推進するため、多様な学術知・実践知を総動員し、産業、地域、市民等の多様なセクターと国内外を問わず、分野を超えてオープンに連携してまいります。
133	3	大学は公的使命を持っている研究機関なので、神奈川県科学技術政策に貢献できる活動が多々あると思うので、色々な大学との連携を強化してほしい。	B	ご意見については、各機関の活動の方向性として県試験研究機関の活動を位置付けており、幅広い分野への成果展開や、大学や企業と連携した課題解決力の向上などの未来を見据えた取組をより一層強化してまいります。
134	3	神奈川県西部の医療を担っている東海大学の活動は重要である。医療・未病・スポーツ等で多くの地域連携・貢献をしているので東海大学の活動は大切にしてほしい。	B	ご意見については、各機関の活動の方向性として神奈川県による地域の大学・企業等との連携・協働の活動を位置付け、取り組んでまいります。

意見の内訳(意見分類): 1 生活・環境 / 2 産業 / 3 人材育成・共創の場 / 4 全般・その他

意見の反映状況(反映区分): A 大綱に反映する意見 / B 意見の趣旨が既に大綱に反映している意見 / C 今後の参考とする意見 / D 大綱に反映できない意見 / E その他

意見番号	意見分類	意見要旨	反映区分	県の考え方
135	3	研究機関と県、或いは企業間との連携が迅速に行えるようになることを期待する。	B	ご意見については、各機関の活動の方向性として神奈川県による地域の大学・企業等との連携・協働の活動を位置付け、取り組んでまいります。
136	3	神奈川県には、ユニークな国の研究所がある。宇宙や海洋などは、夢のある科学技術分野なので、是非未来の科学技術人材の育成等で連携を深めてほしい。	B	ご意見については、施策の基本的な方向として子どもたちの科学技術に対する興味・関心の喚起を位置付けており、次世代の科学技術を担う人材を育成するため、子どもたちや子どもたちを支える家族などに対して、様々な機関と連携しながら科学技術に触れる多様な機会を提供してまいります。
137	3	慶應大学は学部ごとにキャンパスが分散しており、神奈川県にもたくさん立地しているため、組織的な連携を深めて、慶應の総合的な取組を神奈川県で展開するようにコーディネートしてほしい。	B	ご意見については、各機関の活動の方向性として神奈川県による地域の大学・企業等との連携・協働の活動を位置付けており、地域の大学や企業等の科学技術活動の社会実装を促進させるために、県は、関係機関と連携・協働しながら、コーディネート機能を発揮してまいります。
138	4	科学技術政策は、国・県・市町村にそれぞれの役割があると思うが、いずれも現場で広域的に展開されるので県が担うべき役割が非常に重要である。平成当初から科学技術に取り組んできた神奈川県がそのモデルを示してほしい。	B	ご意見については、各機関の活動の方向性として神奈川県による地域の大学・企業等との連携・協働の活動を位置付けており、地域の大学や企業等の科学技術活動の社会実装を促進させるために、県は、関係機関と連携・協働しながら、コーディネート機能を発揮してまいります。
139	3	神奈川県は、東京と地理的・経済活動的にも深く関係性がある。東京大学や東京工業大学及び東京医科歯科大学などとの連携も進めて、首都圏の科学技術資源が神奈川県で社会実装をしていくような戦略性も必要である。	B	ご意見については、県の役割として地域活力の形成と地域社会への貢献を位置付けており、サイエンスパーク等の拠点を中心に、大学・企業等の様々な活動主体による組織・分野の枠を超えて連携する異分野融合の取組と社会実装を促進させてまいります。
140	3	産官学連携のさらなる推進と、サイエンスパーク等のイノベーション拠点の充実を期待します。	B	ご意見については、県の役割として地域活力の形成と地域社会への貢献を位置付けており、サイエンスパーク等の拠点を中心に、大学・企業等の様々な活動主体による組織・分野の枠を超えて連携する異分野融合の取組と社会実装を促進させてまいります。
141	3	神奈川県には、川崎に味の素の研究所があるなど、民間の研究機関の集積も豊富であるため、民間研究所との連携も進めてほしい。	B	ご意見については、各機関の活動の方向性として神奈川県による地域の大学・企業等との連携・協働の活動などを位置付けており、取り組んでまいります。
142	4	県試験研究機関、県立大学、県立病院、そして地独の研究機関等をうまく活用して大綱になっている。地域企業も取り込んだ政策にも期待する。	B	ご意見については、各機関の活動の方向性として神奈川県による地域の大学・企業等との連携・協働の活動などを位置付けており、取り組んでまいります。
143	3	横のつながり(県内・県外ともに)をより活性化することでビジョン・課題の共有を促進し、新たな発見につながることを望みます。	B	ご意見については、国内外との交流・連携・展開として位置付けており、県は、地域社会に立脚し、地域社会に貢献することを根底に置きつつ、世界の知見を導入し、神奈川県発の技術を世界にも展開できるよう、国内外との交流・連携・展開も図る、という複眼的な視点で、科学技術イノベーション活動を推進するとともに、これらを担う人材を育成し活躍していく場を形成してまいります。

意見の内訳(意見分類): 1 生活・環境 / 2 産業 / 3 人材育成・共創の場 / 4 全般・その他

意見の反映状況(反映区分): A 大綱に反映する意見 / B 意見の趣旨が既に大綱に反映している意見 / C 今後の参考とする意見 / D 大綱に反映できない意見 / E その他

意見番号	意見分類	意見要旨	反映区分	県の考え方
144	3	殿町には、再生細胞医療や医療機器の大学や企業が集積しているため、異分野でオープンイノベーションを進めることを期待したい。そのリード役を神奈川県が果たしていくべきである。	B	神奈川の科学技術イノベーション活動を重点的に行う拠点として、殿町などを中心に、大学や企業及び自治体が組織や分野の枠を超えて連携する異分野融合プロジェクトを推進するとともに、拠点の特色を生かした共創活動を展開し拠点間の連携も進めてまいります。
145	2・3	地域における科学技術イノベーション・エコシステムの構築は大切であり、まだ日本では上手くいっていないと思うので、ぜひ神奈川県が構築を推進してほしい。	B	ご意見については、施策展開の軸となる3つの視点として、地域における科学技術イノベーション・エコシステム構築の視点を位置付けており、公的機関や大学が、「公(おおやけ)」の視点を大切にしながらサイエンスパーク等を中核拠点として、「研究機関・企業・金融機関などの様々なプレーヤーが相互に関与して、絶え間なくイノベーションが創出され社会に展開されていく科学技術イノベーション・エコシステム」の構築を目指してまいります。
146	2・3	エコシステムなどの協力関係の活性化を行政でサポートしてほしい。	B	ご意見については、施策展開の軸となる3つの視点として、地域における科学技術イノベーション・エコシステム構築の視点を位置付けており、公的機関や大学が、「公(おおやけ)」の視点を大切にしながらサイエンスパーク等を中核拠点として、「研究機関・企業・金融機関などの様々なプレーヤーが相互に関与して、絶え間なくイノベーションが創出され社会に展開されていく科学技術イノベーション・エコシステム」の構築を目指してまいります。
147	4	大綱素案を読んで、神奈川県が科学技術政策推進において、地域への展開と国際的な展開の両方の視野を持っていることに感銘を受けた。神奈川に貢献を基本としつつも行政区域に拘り過ぎるのは逆にマイナスになるので、妥当な見解である。	B	地域社会に立脚し、地域社会に貢献することを根底に置きつつ、世界の知見を導入し、神奈川発の技術を世界にも展開できるよう、国内外との交流・連携・展開も図る、という複眼的な視点で、科学技術イノベーション活動を推進してまいります。
148	4	一地域の風土や経済状況を国が鑑みて策に組み込むことはどうしても難しいはずである。地域内の行政が積極的にこの事項に介入することは神奈川という地域にとって内外から発生する障害を防ぐには最適な手段だと考える。	B	地域社会に立脚し、地域社会に貢献することを根底に置きつつ、世界の知見を導入し、神奈川発の技術を世界にも展開できるよう、国内外との交流・連携・展開も図る、という複眼的な視点で、科学技術イノベーション活動を推進してまいります。
149	4	国の取組と連携しながら、科学技術の成果を現場で検証していく取組などに、神奈川県が力を入れてほしい。	B	ご意見については、施策の基本的な方向として安全・安心で豊かな生活・環境を実現する科学技術活動の展開を位置付けており、国や市町村と連携・協働しながら、健康長寿社会の実現に寄与する科学技術活動の展開や、フィールドを活用した実証活動、科学的データの蓄積と利活用などに取り組み、新たな技術・サービスを実証し評価していく活動を展開してまいります。
150	4	未病について、科学的な取組を推進していくことが重要である。現在の取組に、科学的なエビデンスを提供することも必要だが、10年先を見据えた科学技術イノベーションの視点も大切にして取り組んでほしい。	B	ご意見については、施策の基本的な方向として、安全・安心で豊かな生活・環境を実現する科学技術活動の展開を位置付けております。フィールドを活用した実証活動や科学的データの蓄積と利活用などに取り組み、新たな技術・サービスを実証し評価していく活動を展開し、これらの活動と連携した未病指標などの行政の社会実装事業を強化いたします。また、科学技術の成果が社会で活用されるよう、産業や生活、現場の視点や時間軸を大切に、顕在的・潜在的ニーズを意識した研究を推進してまいります。

意見の内訳(意見分類): 1 生活・環境 / 2 産業 / 3 人材育成・共創の場 / 4 全般・その他

意見の反映状況(反映区分): A 大綱に反映する意見 / B 意見の趣旨が既に大綱に反映している意見 / C 今後の参考とする意見 / D 大綱に反映できない意見 / E その他

意見番号	意見分類	意見要旨	反映区分	県の考え方
151	1	様々な研究調査機関を持っているため網羅的で多岐にわたるデータを得ることができるのも強みだと考えられる。これを活かした、それぞれの地域の特性(地形などの環境や、食生活)と健康状態の特色の相関関係などがわかれば、県民の地域特性に合わせたヘルスクエアが実現できるのではないかと。	B	ご意見については、施策の基本的な方向として、安全・安心で豊かな生活・環境を実現する科学技術活動の展開を位置付けております。フィールドを活用した実証活動や科学的データの蓄積と活用などに取り組み、新たな技術・サービスを実証し評価していく活動を展開し、これらの活動と連携した未病指標などの行政の社会実装事業を強化いたします。
152	4	未病指標に興味がある。未病の状態を数値化することは、その変化をみていくことは、意識の高揚にも繋がる。また、疾患等のリスクアワードも重要である。	B	「最先端医療・最新技術の追求」と「未病(ME-BYO)の改善」の2つのアプローチを融合させた取組(未病の状態を数値等で見える化し、技術・サービスの提供・介入等で行動変容を促進することなど)を進めてまいります。
153	1・2	脱炭素、カーボンニュートラルは喫緊の課題であり、県の科学技術政策大綱にこの取組みが明記されたことを評価する。	B	重点研究目標に脱炭素を位置付け、「脱炭素社会」の実現に向けた調査・研究活動を行うとともに、技術開発等に取り組んでまいります。
154	4	科学技術政策は単に科学技術、理系の内容だけ考え記述するだけではならず、人文科学的な視点で考え、記述する必要があるが、本大綱はこの方向に沿っているものと思う。	B	理工系に加えて人文科学も含む「科学技術の推進・活用・社会創りの俯瞰的な視点(総合知)」を大切に、総合的な施策を展開してまいります。
155	4	SDGsとの関係がわかりにくい	A	ご意見については、「はじめに」の中で科学技術がSDGsなどの人類が直面する多様な課題の克服に貢献するための手段であることを記載しました。
156	3	基本目標3について、「SDGsの理念に～」と記載があるので、SDGsのゴールのうち、どこをターゲットにしているのかなどについて、記載があっても良いように思います。	A	ご意見については、「はじめに」の中で科学技術がSDGsなどの人類が直面する多様な課題の克服に貢献するための手段であることを記載しました。
157	4	用語の解説に出てこない難しい言葉多い(例: マスギャザリング)	C	ご意見については、大綱を冊子として取りまとめている中で、用語の解説に掲載する単語を充実させてまいります。
158	4	第5章と施策の関係性がわかりにくい(例: 「DXの視点を踏まえて」など)	A	ご意見については、本文中に注釈を追記するとともに、第2章施策の基本的な方向としてデータ活用方策についての記載に関係性を追記いたしました。

意見の内訳(意見分類): 1 生活・環境 / 2 産業 / 3 人材育成・共創の場 / 4 全般・その他

意見の反映状況(反映区分): A 大綱に反映する意見 / B 意見の趣旨が既に大綱に反映している意見 / C 今後の参考とする意見 / D 大綱に反映できない意見 / E その他

意見番号	意見分類	意見要旨	反映区分	県の考え方
159	3	日本の発展を支えていく優秀な人材の海外流失は深刻な問題。人材の育成や研究への投資の重要性を打ち出すべき。	B	ご意見については、基本目標3「課題解決と未来創生に挑戦するイノベーション人材が輝く共創の場の形成」に係る内容を位置付けており、失敗を恐れず挑戦し続ける「人」を評価し、失敗を許容し、再挑戦を促すことができる環境の整備と、社会文化の形成を目指してまいります。
160	3	どのような研究においても人材は重要な要素のため、人材育成を推進していただきたい。	B	ご意見については、基本目標3「課題解決と未来創生に挑戦するイノベーション人材が輝く共創の場の形成」に係る内容を位置付けており、失敗を恐れず挑戦し続ける「人」を評価し、失敗を許容し、再挑戦を促すことができる環境の整備と、社会文化の形成を目指してまいります。
161	3	人材の育成や研究への投資の重要性について、計画だけでなく、実際の施策に反映されることを希望する。	B	県が行う地域課題の解決等に向けた基礎-応用研究活動を引き続き着実に実施していくとともに、基礎研究とその推進人材への投資については、国の環境整備と連携しながら、県としても共創の場の形成に努めてまいります。
162	3	研究者という職業に進む学生があまり多くないように感じるので、待遇を良くし、人材を確保することが必要であると思います。	B	県が行う地域課題の解決等に向けた基礎-応用研究活動を引き続き着実に実施していくとともに、基礎研究とその推進人材への投資については、国の環境整備と連携しながら、県としても共創の場の形成に努めてまいります。
163	3	日本の研究員一人当たりの研究開発費は諸外国に比べ少ないと言われている。特にアメリカや中国との研究費の差は大きい。水なくして動植物が育たないように、研究費なくしては技術の進歩は期待できない。知り合いの研究室でも、研究費が少ないので実験が装置の修理から始まった、という話を聞いたことがある。研究者が研究に集中できるような環境づくりに力を入れてほしい。	B	県が行う地域課題の解決等に向けた基礎-応用研究活動を引き続き着実に実施していくとともに、基礎研究とその推進人材への投資については、国の環境整備と連携しながら、県としても共創の場の形成に努めてまいります。
164	4	第5章で科学技術政策にどのように具体的に取り組むかが明示されていて、よいと思う。	B	第5章では、序章から第3章までを踏まえ、今後の施策の展開に当たって県が軸とする視点や考え方などを共通認識として示し、その認識の下、国や市町村と連携・協働しながら、県が実行力をもって科学技術政策を推進してまいります。
165	4	例えば建設業のように、国を挙げてICT化に取り組んでいる分野があるにもかかわらず県の取組みに記載がなく、この分野でどのように県が取り組むかが第4章から読み取りにくい。	C	ご意見については、「官民データ活用推進基本法」が制定されたことを受け、本県においても官民データ活用の推進に関する施策についての基本的な計画として「かながわICT・データ利活用推進計画」を策定いたしました。ICT及びデータの利活用を通じ、地域の更なる発展と課題解決を目指してまいります。また、デジタル技術などの活用については第5章に記載しております。
166	4	第4章は県の施策事業から一定の視点で抽出、整理して参考になるが、ボリュームが多く、どれを県が大事と考えているかわかりづらい。	C	ご意見については、大綱を冊子として取りまとめている中で、附属資料として大綱の概要版を掲載し、特に力を入れる取組を抜粋するなど、分かりやすい・伝わりやすい表現になるよう努めてまいります。
167	4	県の重要な取組、重点的に投資する分野や事業を明記するか、掲げる事業を絞った方がよい。	B	ご意見については、重点研究目標を位置付けるとともに、施策の展開に当たって県が軸とする視点や考え方などを共通認識として示し、取り組んでまいります。

意見の内訳(意見分類): 1 生活・環境 / 2 産業 / 3 人材育成・共創の場 / 4 全般・その他

意見の反映状況(反映区分): A 大綱に反映する意見 / B 意見の趣旨が既に大綱に反映している意見 / C 今後の参考とする意見 / D 大綱に反映できない意見 / E その他

意見番号	意見分類	意見要旨	反映区分	県の考え方
168	4	3大疾病や糖尿病・認知症・フレイルなどは、どの市町村の現場でも抱えている社会課題なので、そのような広域的な明確な社会ニーズに神奈川県が科学技術政策で取り組んでいくことを期待する。	B	ご意見については、施策の基本的な方向として安全・安心で豊かな生活・環境を実現する科学技術活動の展開を位置付けるとともに、施策の効果が最大限発揮されるよう、県は広域的な視点を持ち、密に連携を取りながら、市町村と相互に連携・協働してまいります。
169	1	環境対策や食関係技術、エネルギーなどは、持続可能な社会のためには非常に重要な分野である。科学技術の力が必須であり、神奈川県が重点分野としてしっかりと取り組んでほしい。	B	ご意見については、重点研究目標に設定しております。県試験研究機関等においては、それぞれの目的に沿った研究を推進しながら、将来のイノベーション創出のための研究シーズの発掘に努めるとともに、大学や企業、研究機関等との連携を図りながら、新たな高付加価値産業の創出や異分野間の連携も視野に入れ、重点的な研究活動を展開してまいります。
170	4	イノベーションを「技術革新」と狭義にとらえるのではなく、「創作的活動を通じて新たな価値を生み出し、これを普及することにより、経済活動の大きな変化を創出するものとされています」と正しくかつ広義にとらえている点を評価したい。	B	公的機関や大学が、「公(おおやけ)」の視点を大切にしながらサイエンスパーク等を中核拠点として、「研究機関・企業・金融機関などの様々なプレーヤーが相互に関与して、絶え間なくイノベーションが創出され社会に展開されていく科学技術イノベーション・エコシステム」の構築を目指してまいります。
171	4	「経済社会の大きな変化を創出」を「経済活動や社会生活の大きな変化を創出」のように経済活動だけでなく社会生活も記載しておいた方が良いと思われる。	A	ご意見については、序章の「4 人・社会・未来に伝える科学技術の重要性」の中で、社会生活についても記載いたしました。
172	4	DXとは経済産業省によると、「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会ニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること」と定義されています。しかし、このDXの視点(定義)をしっかりと理解している県民の比率は少ないものと思われます。そこでまずは、DXとは何かという説明が必要だと思います。	A	ご意見については、DXの読み仮名を記載するとともに、注釈を追記いたしました。
173	4	大綱の〈第5章2. デジタル技術などの活用〉の本文において、「製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること」の視点が弱いような気がする。	A	ご意見については、第5章の記載を整理し、県試験研究機関等が調査やモニタリング活動を通じて取得する科学的データについては、例えば、企業等がデータとデジタル技術を活用して、くらしを豊かにする製品やサービス、ビジネスモデルに変革できるよう、公的資産として着実に蓄積した上で、価値の可視化やオープン化を検討していくことを記載しました。
174	4	DXは今回の科学技術政策大綱の中でも非常に重要な視点だと思いますので、単なるIoT等のデジタル技術等の導入による効率化や省人化ではなく、「製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革」することを積極的に進めていただくことを期待しています。	A	ご意見については、第5章の記載を整理し、県試験研究機関等が調査やモニタリング活動を通じて取得する科学的データについては、例えば、企業等がデータとデジタル技術を活用して、くらしを豊かにする製品やサービス、ビジネスモデルに変革できるよう、公的資産として着実に蓄積した上で、価値の可視化やオープン化を検討していくことを記載しました。
175	4	ゲノム医療が急速に普及する中で、ボトルネックのひとつに遺伝医療に従事する専門家(遺伝医療専門医や遺伝カウンセラー)の不足があります。医療機関での陣容を厚くすることが求められています。	C	ご意見については、今後施策の展開や、大学・研究機関等との連携の中で努めてまいります。
176	4	一般的に聞きなれない言葉(例:社会との対話)が記載されており、理解しづらいため、平易な言葉で記載していただくと理解しやすくなると思う。	A	ご意見については、第5章の「科学技術」と「社会」の対話の視点により具体的な取組を記載するとともに、大綱を冊子として取りまとめでいく中で附属資料を充実させるなど、分かりやすい・伝わりやすい表現になるよう努めてまいります。

意見の内訳(意見分類): 1 生活・環境 / 2 産業 / 3 人材育成・共創の場 / 4 全般・その他

意見の反映状況(反映区分): A 大綱に反映する意見 / B 意見の趣旨が既に大綱に反映している意見 / C 今後の参考とする意見 / D 大綱に反映できない意見 / E その他

意見番号	意見分類	意見要旨	反映区分	県の考え方
177	4	5年ごとに改定して大綱であるが、新型コロナの影響もあったと思うが、前の大綱が6年間であり、この7期の大綱は4年間となっている。盛沢山で取り組む項目も多岐に渡る内容からして4年間でよいのだろうか？5年という考えはないか？	D	ご意見については、国の動向を踏まえながら5年ごとに改定しています。現計画は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、計画期間が1年延長となったため、次期計画は4年間となりました。また、継続が必要な内容については第8期大綱へ改定する際にも継承し、科学技術政策の基本的な方向性が損なわれることのないように取り組んでまいります。
178	4	神奈川県科学技術の特徴は何か？(産業？工業？農業？観光業？) なんでもありの地域であり、特徴がつかめないが、国や東京都との差別化や国際展開なども検討していただきたい。	B	ご意見については、神奈川の地域の特徴を記載しております。また、国際展開については、地域社会に立脚し、地域社会に貢献することを根底に置きつつ、世界の知見を導入し、神奈川発の技術を世界にも展開できるよう、国内外との交流・連携・展開も図る、という複眼的な視点で、科学技術イノベーション活動を推進してまいります。
179	4	科学技術の社会実装の遅れを是正するために、民産官学の間での目指す未来のイメージの共有、感覚や価値観のズレの相互理解とそのことを踏まえた連携のための体制づくりが必要である。	B	ご意見については、施策の基本的な方向として、イノベーション人材が輝く共創の場を実現する科学技術活動の展開を位置付けており、大学や企業及び自治体が、社会と共に歩みながら、「ビジョンを共有し科学技術で未来を共に創っていく場＝共創の場」を形成してまいります。
180	4	民産官学の連携の体制づくりには、それぞれが自身の事として主体的に参画する実地としての共創の場を構築しなければならない。	B	ご意見については、施策の基本的な方向として、イノベーション人材が輝く共創の場を実現する科学技術活動の展開を位置付けており、大学や企業及び自治体が、社会と共に歩みながら、「ビジョンを共有し科学技術で未来を共に創っていく場＝共創の場」を形成してまいります。
181	4	本格的な事業を開始するときには、丁寧な整備が必要だとしても、少なくとも取組開始時には大胆に規制が取り払われた環境が望まれる。戦略特区などの制度活用の敷居をより下げることにより、神奈川県には、“より良い社会を実現する”ための科学技術の“社会実装”を後押しする施策を期待する。	B	ご意見については、施策の基本的な方向として、持続可能な産業の創出・育成を実現する科学技術活動の展開を位置付けており、国家戦略特区などを活用した規制緩和等の提案で、新しい技術やサービスの社会実装に向けた支援活動を展開してまいります。
182	3	特定の地域における市民グループ、大学、企業などからなる共創フィールドの設定、自治体による税制優遇処置などの事業支援も効果的だと考える。	B	大学や企業及び自治体が、社会と共に歩みながら、「ビジョンを共有し科学技術で未来を共に創っていく場＝共創の場」を形成するとともに、国家戦略特区などを活用した規制緩和等の提案で、新しい技術やサービスの社会実装に向けた支援活動を展開してまいります。
183	1	自然災害が増加している現在において、それらの研究等に関して推進していただきたい。	B	ご意見については、基本目標1「安全・安心で豊かな生活・環境を県民が実感できる地域社会の実現」を位置付けており、科学的アプローチに基づく課題解決により、目標の実現を目指してまいります。その上で、重点研究目標に防災・減災・防疫を設定しております。
184	3	どの分野においても人材の育成は重要だと思う。イノベーションを生み出す人材が増えれば科学技術の発展にもつながる。	B	神奈川の知的資源や産業の集積をさらに促すよう、起業家や革新的な研究者、アイデアを生み出す技術者などイノベーション創出を担い、挑戦する人材を継続的に育成してまいります。
185	3	産学公連携により、共同研究が推進され、ビジョンの共有も行きやすくなると感じる。	B	神奈川発のイノベーション創出に向け、県試験研究機関等が中心的な役割を担い、大学や企業、研究機関等と連携した知的財産の創造及び活用を促進させるとともに、産学公の連携による共同研究などを推進してまいります。

意見の内訳(意見分類): 1 生活・環境 / 2 産業 / 3 人材育成・共創の場 / 4 全般・その他

意見の反映状況(反映区分): A 大綱に反映する意見 / B 意見の趣旨が既に大綱に反映している意見 / C 今後の参考とする意見 / D 大綱に反映できない意見 / E その他

意見番号	意見分類	意見要旨	反映区分	県の考え方
186	3	県試験研究機関と大学等との間の、具体的な共同研究を充実させ、有機的な連携を一層強化することが望まれると思います。	B	神奈川県発のイノベーション創出に向け、県試験研究機関等が中心的な役割を担い、大学や企業、研究機関等と連携した知的財産の創造及び活用を促進させるとともに、産学公の連携による共同研究などを推進してまいります。
187	2	特に大綱素案P8～9の(2)中小企業支援を推進すべき。新事業の展開から業界の活性化につながれば、研究施設が増えて、中小企業が受注できる仕事も増える。	B	県内企業等の技術力の向上や知的財産を生かした競争力強化のため、研究開発や技術移転、製品化、起業化等に関する支援を行うとともに、ご意見については、産技総研を中心として技術支援等へと繋げる活動を展開してまいります。
188	2	「誰が使うのだろう」と疑問視されるようなことではなく、例えば“役所手続きがスマホで簡単にできるシステム”の開発など、幅広い世代に受け入れられるような技術を積極的に支援していただきたい。	B	ご意見については、重点研究目標にAI・IoTを設定するとともに、ロボットをはじめとした基盤技術の開発・実用化などを取り入れた施策を展開し、ICTやAIなどを活用した最先端の科学技術によって社会基盤を支える取組などを推進してまいります。
189	1・2	利益追求が重要な企業が出資できない(しない)が、県民の生命、暮らしにかかわる問題を解決する基礎研究にお金を使ってほしい。行政としての大きな利点は税金で県民が本当に望むことにお金を惜しまず使えることだと思つため。特に減災と最先端医療に力を注いでほしい。	B	ご意見については、各機関の活動の方向性として記載しており、地域ニーズを踏まえ、生活・環境の安全確保や安全・安心で豊かな食の提供等、地域課題の解決に向けた研究やモニタリング・普及・実証活動などを行うとともに、継続的な情報発信や双方向のコミュニケーション活動などを行い、生活の質の向上や産業の振興に貢献してまいります。また、減災及び最先端医療については重点研究目標に設定し、施策を展開してまいります。
190	1	単純に病気になってQOL低下を防ぐためだけでなく、福祉に税金の大部分が費やされ未来を背負う世代への投資が滞っている現状を変えるために、未病の早期発見を促進し医療費を安く済ませることが神奈川県や国全体の成長・利益につながると考える。	B	重点研究目標にヘルスケア・未病を位置付けるとともに、未病の科学的なエビデンスの確立や健康に寄与する検査・モニタリング活動に取り組んでまいります。
191	1	未病という概念は非常に合理的な考え方で力を入れて推進すべきなのかもしれないと考えるようになった。未病産業の発展のために効果的な商品・サービスをオーソライズするなど、県による奨励に期待するようになった。	B	重点研究目標にヘルスケア・未病を位置付けるとともに、健康情報等プラットフォームを活用したヘルスケアサービスを展開するなど、未病産業の創出・拡大に取り組んでまいります。
192	3	所属している研究室でライフイノベーションセンターを使用させていただいている。今後もこのようにして大学・研究機関の連携によって技術開発が進むことを期待する。	B	ご意見については、県の役割として、地域活力の形成と地域社会への貢献を位置付けており、サイエンスパーク等の拠点を中心に、大学・企業等の様々な活動主体による組織・分野の枠を超えて連携する異分野融合の取組と社会実装を促進してまいります。
193	4	県という単位の行政機関であるため、ある程度の規模がありながらもローカルな研究ができるという点が面白いのではないかと考えた。	B	県試験研究機関においては、地域ニーズを踏まえ、生活・環境の安全確保や安全・安心で豊かな食の提供等、地域課題の解決に向けた研究やモニタリング・普及・実証活動などを行ってまいります。
194	3	自分は小中高と神奈川県立の公立の学校に通っていたのだが、こういったことを知る機会がなかったと思う。なので、小さいころから行政とはどのようなことをやっているかや、その意義について触れる機会があればその有用性や興味関心も高まるのではないかと感じた。	B	次世代の科学技術を担う人材を育成するため、子どもたちや子どもたちを支える家族などに対して、様々な機関と連携しながら科学技術に触れる多様な機会を提供することで、子どもたちの創造性・探究心・主体性・チャレンジ精神を育み、科学やものづくりに対する興味・関心を高めてまいります。



意見の内訳(意見分類): 1 生活・環境/2 産業/3 人材育成・共創の場/4 全般・その他

意見の反映状況(反映区分): A 大綱に反映する意見/B 意見の趣旨が既に大綱に反映している意見/C 今後の参考とする意見/D 大綱に反映できない意見/E その他

意見番号	意見分類	意見要旨	反映区分	県の考え方
195	2	自治体には利益が出づらい部分を補完する役割が必要であると思う。例えば、革新的なサービスなどは世に受け入れられるまでに時間がかかることが多いが、既存企業ではこれを許容できない。こうした挑戦的な製品やサービスについてはスタートアップ企業の方が適正があるため、これらが軌道に乗るまでの補助を積極的にやるべきであると思う。	B	サイエンスパーク等の拠点を中心に、大学・企業等の様々な活動主体による組織・分野の枠を超えて連携する異分野融合の取組と社会実装を促進させてまいります。また、国家戦略特区などを活用した規制緩和等の提案で、新しい技術やサービスの社会実装に向けた支援活動を展開してまいります。
196	2	スタートアップがその後成長していくかどうかについては事前に予測することは極めて難しいため、数多くのスタートアップ企業をある程度の期間継続的に支援すべきであると考えます。	B	失敗を恐れず挑戦し続ける「人」を評価し、失敗を許容し、再挑戦を促すことができる環境の整備と、社会文化の形成を目指してまいります。また、新たな知の創造やリスクヘッジ・共通課題の共有及び新しい技術やサービスの呼び込み機能等の非競争領域の機能を充実し、そこから実用化に向けた競争領域へシームレスな展開を図ってまいります。
197	3	予算の増額を期待します。とくに博士課程後期進学者への支援金の増額を求めます。昨今の現状では博士課程後期に進学する学生の数は少なくなっていると思いますが、その理由に経済的な負担や、修士卒で卒業した方が少なくとも学生である3年間はお金を稼いでいるという実態があると思います。学生である以上企業で勤める程の金額を保有することはかなわないでしょうが、経済的支援はもっと充実してほしいなと思います。このまま日本のph.D取得者が減少し続ければ国力低下は免れないのではないのでしょうか？	C	国の事業を活用した人件費の確保に努めるとともに、大学との連携を進める中で、リサーチ・アシスタント制度の活用を促してまいります。
198	1	最先端医療についてはより人の命を救い、たくさんの方の幸福な生活を支えるという観点で重要である。	B	最先端医療については重点研究目標に位置付け、推進してまいります。
199	2・3	人々の暮らしが変わるような新技術への支援を惜しまないことを期待します。神奈川県の実業創生のためのイノベーション人材が輝く場の提供では、一見県民のためになっているのかと疑問に思える技術などもあるかと思えます。しかし県民や神奈川の未来のために、ワクワクするような新技術の開発を推進することを期待します。	B	新たな知の創造やリスクヘッジ・共通課題の共有及び新しい技術やサービスの呼び込み機能等の非競争領域の機能を充実し、そこから実用化に向けた競争領域へシームレスな展開を図ってまいります。また、人文科学の「人材・知」も参画していく科学技術を活用した新しい社会創りに挑戦していくプロジェクト等も推進してまいります。
200	4	産官学連携によって様々な技術が開発されてゆくと考えています。そんな中で官がになれる役割は企業や大学だけでは資金的な問題で解決できないような課題への寄与や社会問題を解決するような技術を推進することを担えると考えています。	B	基本原則として、より効果的に科学技術の成果を生み出し活用していくために、選択と集中の観点を踏まえ、社会課題と合致するかという視点から研究を推進してまいります。また、神奈川県による地域の大学・企業等との連携・協働の活動を推進してまいります。
201	1	これから進む超少子高齢社会において、介護は避けて通ることのできない問題となる。介護を科学技術を用いて改善していくことが急務であると考えます。	B	介護・福祉については重点研究目標に設定し、リハビリ支援や移動介助等、介護・医療ロボットの実用化プロジェクトを実施してまいります。
202	2	AI/IoTについて、これから加速するこれら最新技術の開発によって新たな雇用が創出できる。これによる地域活性が見込める。	B	AI/IoTについては重点研究目標に設定し、施策を展開してまいります。
203	2	日本のエネルギー技術や政策を世界基準にするためにも、神奈川県が先導して開発を行ってほしい。	B	ご意見については、重点研究目標としてエネルギーを設定しております。また、地域社会に立脚し、地域社会に貢献することを根拠に置きつつ、世界の知見を導入し、神奈川発の技術を世界にも展開できるよう、国内外との交流・連携・展開も図る、という複眼的な視点で、科学技術イノベーション活動を推進してまいります。
204	3	現在県がどのような科学技術を保有し、地域社会の発展に役立っているのか自分は良く知らないのですが、現在までの功績や目標を広く発信することや、生活の上で県の技術の恩恵を感じられるような県民個人単位への還元が求められる。	B	ご意見については、施策展開の軸となる3つの視点として、「科学技術」「社会」の対話の視点を記載しており、対話の取組を重ねることで、社会課題解決のための科学技術活動の展開を強化し、地域社会の科学技術リテラシーの向上も図り、科学技術への共感と信頼を醸成することで、県民の皆様一人一人がその成果をより実感できる社会の実現を目指してまいります。
205	3	基礎研究を進められる研究所の設立、もしくは大学に対する投資に期待します。世間の意見を考えると非常に難しいと思いますが、経済的な利益をすぐに上げることが難しいジャンルであるので公的機関が特に必要だと思います。	B	ご意見については、施策の基本的な方向として、イノベーション人材が輝く共創の場を実現する科学技術活動の展開を位置付けており、大学や企業及び自治体が、社会と共に歩みながら、「ビジョンを共有し科学技術で未来を共に創っていく場＝共創の場」を形成してまいります。また、新たな知の創造やリスクヘッジ・共通課題の共有及び新しい技術やサービスの呼び込み機能等の非競争領域の機能を充実し、そこから実用化に向けた競争領域へシームレスな展開を図ってまいります。

意見の内訳(意見分類): 1 生活・環境 / 2 産業 / 3 人材育成・共創の場 / 4 全般・その他

意見の反映状況(反映区分): A 大綱に反映する意見 / B 意見の趣旨が既に大綱に反映している意見 / C 今後の参考とする意見 / D 大綱に反映できない意見 / E その他

意見番号	意見分類	意見要旨	反映区分	県の考え方
206	1	序章「神奈川県科学技術を取り巻く状況」をはじめ、全体的に自然災害や大規模地震などが増加しているとの前提で策定されていますが、これは事実でないと思います。昔と比べて、大規模な自然災害は決して増えてはいません。そのような印象があります。	A	ご意見については、序章「神奈川県科学技術を取り巻く状況」の記載を「自然災害の増加や、大規模地震などにより、自然界や環境の問題への関心が高まっており、……応用展開が一層求められています。」と修正いたしました。
207	3	「かながわサイエンスサマー」はよい取り組みだと思います。これに参加した子供たちが科学に興味をもち、次代を担っていったらいいと思います。	B	次世代の科学技術を担う人材を育成するため、子どもたちや子どもたちを支える家族などに対して、様々な機関と連携しながら科学技術に触れる多様な機会を提供することで、子どもたちの創造性・探究心・主体性・チャレンジ精神を育み、科学やものづくりに対する興味・関心を高めてまいります。
208	1	神奈川県では、未病促進に対して力を入れていることを承知しており、この大綱でも、そのことについて科学的な目線から取組方針を示そうとしている点については理解ができた。しかしながら、根本的な未病促進自体が現状のところ不十分ではないかと感じる。現に質問者が通う健康体操教室でも未病促進について県と連携を図っているようだが、未病自体を知るものは少ないと感じる。科学的な目線からも未病促進に対しての促進に向けた具体的な内容をもう少し盛り込むとよいのではないかと感じた。	B	「最先端医療・最新技術の追求」と「未病(ME-BYO)の改善」の2つのアプローチを融合させた取組を進めることで、健康寿命の延伸を目指してまいります。また、未病の科学的なエビデンスの確立などの取組を推進してまいります。
209	3	科学技術に係る体験の場を促進するということから夏休みだけではなく例えばサイエンススプリングなど年に数回こうした科学技術の祭典等を開催してもいいのではないかと感じた。	B	施設公開、成果発表会、対話型の活動成果の紹介及びホームページや成果資料集等を通じた積極的な情報の発信など、多様な発信手法や媒体を活用し、積極的に情報発信するとともに、対話型の科学技術活動など研究者と県民の皆様を繋ぐ双方向のコミュニケーション活動を推進してまいります。
210	4	科学技術政策大綱では、重要な内容がまとめられていると思います。しかし、あまりインパクトがないように思います。	B	神奈川県発の科学技術によるイノベーションを起こし活用していく取組によって、科学技術の成果を地域に展開し、県民の皆様へ届けていくことを目指し、科学技術政策の推進に取り組んでまいります。また、今後の施策の展開に当たっては、様々な機会を捉え、情報発信してまいります。
211	4	「マグネット神奈川」という言葉に何か説明が必要だと思います。皆さん、イメージが湧くでしょうか。	A	ご意見については、注釈を追記するとともに、大綱を冊子として取りまとめている中で、附属資料に用語の解説を掲載するなど、分かりやすい・伝わりやすい表現になるよう努めてまいります。
212	4	前回の資料をみると2位が多いようですが、その割に目立っていないと思います。神奈川県が目玉になるように、何か成果が全国一になるものがあると良いのではないのでしょうか。また、アピールをもっともよいと思います。	C	ご意見については、大綱を冊子として取りまとめている中で、附属資料で神奈川県発の技術についてご紹介するとともに、今後もしっかりと伝わりやすい情報発信に努めてまいります。
213	3	大綱の進め方が大事だと思います。個人的には、研究力の低下が問題となっており、神奈川県では研究者や研究を優遇できるようにするような進め方はいかがでしょうか。世界トップの研究者を呼んだり、若い研究者でも提案したものが比較的自由にでき、論文が沢山書けるような方策を盛り込む。研究レベルがあがると、おのずと起業家が増える、産業が活発化するなど好循環になると思います。	B	県は、地域社会に立脚し、地域社会に貢献することを根底に置きつつ、世界の知見を導入し、神奈川県発の技術を世界にも展開できるよう、国内外との交流・連携・展開も図る、という複眼的な視点で、科学技術イノベーション活動を推進するとともに、これらを担う人材を育成し活躍していく場を形成してまいります。社会課題の解決や新たな未来社会創生を目指して、分野の垣根を超えた多様な人材・知識・技術・データ等がオープンに集う共創の場を形成し、地域で皆が必要としている非競争領域の機能を構築し共有する中で、ベンチャー企業の創出・育成や公的評価・データ共有機能及び科学技術の社会実装を促進していく支援機能を一層充実させてまいります。